



キャッチフレーズ

支えあう・助け合う町 江ヶ崎

第5期計画で力を入れたいこと

1 子どもが健全に過ごせる場づくり

具体的な活動

- 1 年少人口の増加に伴う多様化した居場所づくり。
- 2 子育て中の親への支援の充実と交流の支援。
- 3 新しい世帯や地元中学生などに地域活動への積極的な参加を促し、親世代へと活動の輪を広げる。



2 世代を超えた住民間の交流

具体的な活動

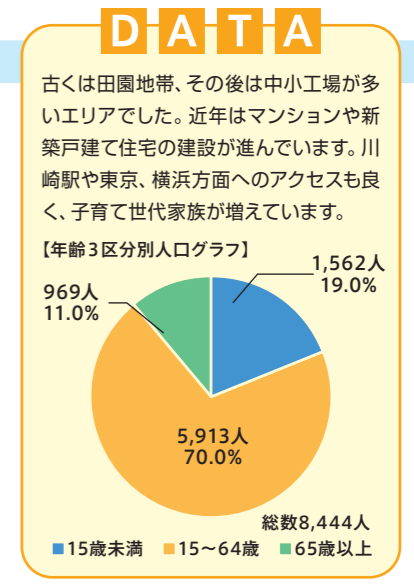
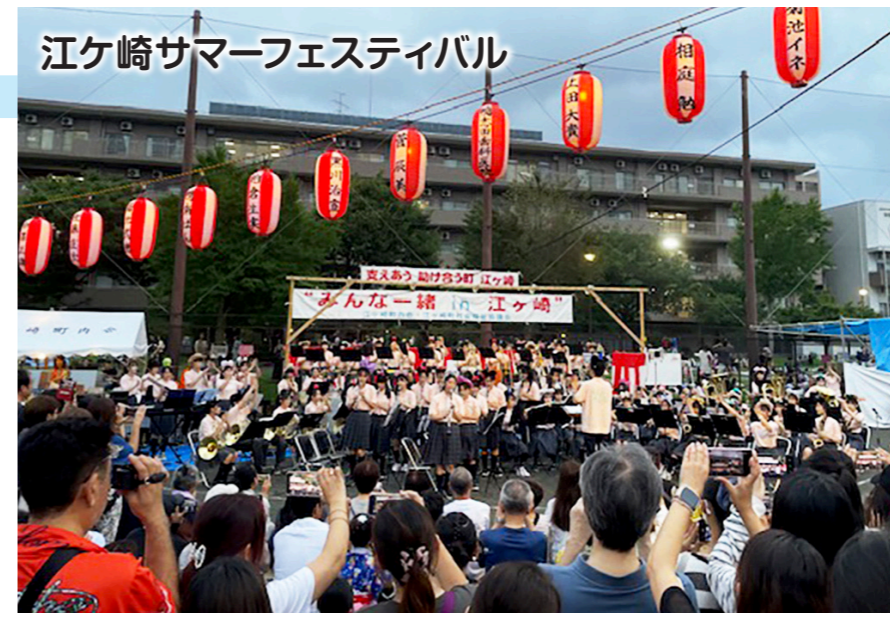
- 1 様々な地域行事により多世代の住民の参加と交流を広げる。
- 2 イベントなどを「きっかけ」に顔の見える関係を築き、それとともに運営への参画を促す。
- 3 総合防災訓練などを通じて災害に備えると共に、共助の働きかけを促進する。



3 誰もが参加しやすい環境・見守り

具体的な活動

- 1 ホームページなどを活用し、誰にでも伝わるよう、地域の情報発信について工夫する。
- 2 楽しく・気軽に・誰でも参加しやすい場や環境を整え、日ごろから交流・見守り・健康づくりを促進する。
- 3 あいさつ運動をさらに浸透させ、住民間の交流を深める。



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

第5期計画はこのようにつくりました

- 推進協議会にて、第4期の振り返りと第5期計画策定に向けてのグループワークを行いました。地域の皆さんの活動の中で「できていること・取り組んでいること」や「課題に感じていること・こうなったらいいなと思うこと」など活発な意見交換を行いました。



【主な意見】

地域行事へ新しい世帯や子供を呼び込みたい／イベントは中学生の手伝いや参加も多いので、運営に関わってくれと嬉しい／広報用フェイスブックの一層の有効活用ができればいい。

これまでの計画（第4期）の振り返り **支えあう・助け合う町 江ヶ崎**

目標① 子どもが健全に過ごせる場づくり

毎月第2火曜日に開催する子育て広場は、子どもの居場所づくりになっています。クリスマス会、かるた大会など様々なイベントを行い多くの子どもが参加しました。

目標② 世代を超えた住民間の交流

サマーフェスティバル、総合防災訓練、家族大運動会、もちつき大会などの行事には、多世代にわたる方々が参加し、交流の場となっています。

目標③ 誰もが参加しやすい環境・見守り

地域が作成している「江ヶ崎の防災」を8年振りに改訂し、全世帯に配布しました。回覧板、掲示板、フェイスブック運営で、情報発信を行いました。小学校・中学校の入学式でのあいさつ運動を実施し顔の見える関係づくりをすすめました。